



2021年4月23日

各位

会社名 リソルホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 今泉 芳親
(コード番号 5261 東証第一部)
問合せ先 取締役執行役員経理部長 大澤 勝
(TEL. 03-3344-8861)

2021年3月期通期業績予想および配当予想に関するお知らせ

当社は、新型コロナウイルス感染症による影響等により2020年5月26日に未定として公表いたしました2021年3月期の業績予想及び配当予想について最近の業績動向を踏まえ、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想について

(1) 2021年3月期 連結業績予想数値 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	百万円 未定	円 銭 未定
今回修正予想 (B)	19,534	1,052	1,673	310	55.91
増減額 (B-A)	-	-	-	-	-
増減率 (%)	-	-	-	-	-
(ご参考) 前期連結実績 (2020年3月期)	20,611	423	1,003	106	19.21

(2) 業績予想の理由

2021年3月期の連結通期業績予想につきましては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が国内経済および当社業績に与える影響に関しまして、合理的な算定が困難であることから未定としておりました。

2021年3月期の連結業績につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の収束が見通せない状況を鑑み、感染拡大防止の観点から運営事業については、政府による緊急事態宣言に伴う一部施設の営業停止や感染拡大防止対策を徹底するなど、お客様への安全配慮および従業員の安全確保を最優先した対策に取り組むなど、大きな制約のなかでの営業を実施することとなりました。また第4四半期においても2回目の緊急事態宣言が発令されるなど集客に影響が生じました。

その一方で、投資再生事業においては、当初の計画通りに福島石川太陽光発電所第一設備の売却と運営施設の投資再生株式の売却を実施いたしました。売上高は新型コロナウイルスの影響により運営事業の売上高の減少もあり前期実績を下回る見通しですが、投資再生事業の利益もあり、営業利益、経常利益および当期純利益は前期実績を上回る見通しです。

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 配当予想について

(1) 2021年3月期 配当予想

	年間配当金 (円)		
	第2四半期	期末	年間
前回予想 (2020年5月26日公表)	—	未定	未定
今回修正予想	—	50円00銭	50円00銭
当期実績	0円00銭	—	—
前期実績 (2020年3月期)	0円00銭	50円00銭	50円00銭

(2) 配当予想の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策と認識し、将来の事業展開と内部留保による財務体質の充実を勘案したうえ、安定的かつ継続的に実施していくことを基本方針としております。

2021年3月の期末配当金につきましては、新型コロナウイルス感染拡大が当社業績に及ぼす影響額を精緻に算出することが困難であったことから未定としておりました。

依然として、先行き不透明な事業環境ではありますが、当社の配当に関する決定方針や内部留保を勘案し、今年度（2021年3月期）の期末配当を1株当たり50円に修正いたします。

以上